



平成 22 年 9 月 13 日

国土交通省海事局

第 3 回「フェリー大傾斜事故防止対策検討委員会」の議事概要について

1. 日時：平成 22 年 9 月 9 日（木） 14:00～15:30
2. 場所：中央合同庁舎 2 号館 1 5 階 海事局会議室
3. 出席者
  - <委員> 矢吹委員(座長)、梅田委員、川村委員、田村委員、雨宮委員、稲垣委員、中田委員、小島(茂)委員、溝上委員
  - <海事局> 森技術審議官、坂下安全環境政策課長、蔵持企画調査室長、山本運航労務課長（事務局：安全環境政策課）
4. 議事概要
  - (1) フェリー等を対象とした船体運動計算について
    - ・ 事務局より、追い波中での復原力低下を考慮した船体運動計算プログラムを作成し、現在プログラムの検証作業中である旨報告されるとともに、今後、船速や針路を変える操船によってどの程度大傾斜を回避できるのか評価を行うとの作業方針が説明され、了承された。
  - (2) RORO 貨物の固縛方法の検討と有効性評価について
    - ・ 運航中の RORO 貨物船を用いて行われた、車両甲板に直積みされるコンテナの摩擦計測実験の結果が報告された。
    - ・ コンテナ及びシャーシ・車両の固縛方法の強度評価の中間報告がなされた。コンテナについては、従来行われていた固縛方法では横滑りに対して必ずしも十分な強度が確保できない可能性があり、今後、横滑りに対して有効な固縛方法について検討することとされた。また、シャーシ・車両についても、従来主眼が置かれていた転倒防止だけでなく、横滑りも考慮に入れた固縛方法について検討を行うこととされた。
  - (3) その他
    - ・ 次回会合は、10 月 4 日(月)14:00 から開催することとされた。

以上

問合せ先：国土交通省海事局安全環境政策課
課長 坂下（内線 43-501）
専門官 大西（内線 43-533）
（代表）03-5253-8111
（直通）03-5253-8631